

2026年10月1日
第1533回 例会報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正出席率
16人	8名	50.00%	9月10日 100%

赤坂迎賓館見学(移動例会)

荒井会友のガイドにて、赤坂離宮迎賓館見学をいたしました。

これまでも写真や映像などで目にする機会はありませんでしたが、実際にその空間に身を置き、建物や装飾に込められた意味を一つひとつ伺っていくと、これまでとは全く違った見え方がしてきました。

単に「豪華で美しい建物」というだけではなく、そこには日本の歴史や文化、そして当時の職人たちの卓越した技術が随所に込められていることに、改めて驚かされました。



ニコニコボックス

東京東ロータリークラブ会長 西野耕一郎 様
東京東ロータリークラブ幹事 北島隆次様 本日は御世話になります。宜しくお願いいたします。
土屋 東明君 卓話に上塘様をお迎えして。東クラブの西野会長、北島幹事、ようこそ。
木村 美鈴君 東京東ロータリークラブ会長 西野様、幹事 北島様、本日はよろしくお願い致します。
森 達郎 君 本日の卓話、上塘様 航空管制のお話し楽しみです。移植ネットワーク日本初の心臓移植搬送時、大変お世話になりました。
原田 俊彦君 上塘様、卓話よろしくお願いします。
波多野幸雄君 上塘善之様の本日の卓話(航空管制官)楽しみにしています。
金子高一郎君 上塘さん、本日の卓話、どうぞよろしくお願いします。
井上 慶亮君 上塘様、本日よりよろしくお願い致します。たまにですが、航空無線を聴きます!!
水谷 文彦君 上塘様、卓話楽しみにしています。

合計 20,000円

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO
BAY
ROTARY
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 墨田・江東グループ
VOL.36 NO.9・10 第1533・34回 2026年10月1・8日

持続可能な
インパクトを
生み出そう

RI会長 オラインカ・
ハキーム・ババロラ
(ナイジェリア、トランス・アマディRC)

HAPPY ROTARY
みんなのために

- ①会員を増やすこと
特に退会防止に力を注ごう
- ②インパクトある奉仕をしよう
- ③RIや地区にあるリソースを活用
しよう
- ④ロータリーファミリーを大切に

ガバナー 谷一文子
(東京小石川RC)

『共に創ろうクラブの魅力』クラブ会長 土屋東明

本日の卓話

「なんでも鑑定団裏話」
谷一 尚様
(東京小石川RC)

次回以降のプログラム

10月15日 休会

22日卓話「イタリア料理人 日高良実」
日高 良実様

2026年9月17日
第1532回 例会報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正出席率
16人	8名	50.00%	9月3日 100%

■ 点 鐘

■ ロータリーソング「我等の生業」

■ ゲスト： 卓話者 航空事故調査官 上塘善之様、令夫人 永理様

東京東ロータリークラブ 会長 西野耕一郎

東京東ロータリークラブ 幹事 北島 隆次様

■ ビジター：亀岡成幸君(津京銀座ロータリークラブ)

<会長・幹事報告>

・本日、例会に先立ち、9月度理事役員会を開催致しました。(詳細は中面をご覧ください)

・次週24日は休会、10月1日は移動例会です。ご出欠をお知らせください。

・先日、送金いたしました熊本地震支援金のご報告(総額7,760,397円)と御礼がガバナー
事務所より届いております。

<委員会報告>

・原田会員増強委員長より、10月13日に秋の家庭集会を開催いたします。

入会候補者へお渡しする用にパンフレットを作成いたします。皆さん、ご協力をお願い致します。

■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1

ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615

■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F

TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611

E-mail tokyobay@club.email.ne.jp

■ 役 員／

会長 土屋 東明

会長エレクト 波多野幸雄

幹事 木村 美鈴

会報委員長 田中 保

9月17日の卓話は、
航空事故調査官
(元航空管制官)
上塘善之氏による
「航空管制官」～空の守り人～でした。
“管制とは”、業務内容、やりがい、
向いている人等、普段、聞くことのない
お話をうかがうことができました。



「ロータリーの友」10月号のご紹介

○(横組P5) Grow Rotary

「クラブの居心地を良くするための三つの秘策」

第2地域ロータリー会員増強コーディネーターで、当地区の若林英博パストガバナーの記事が掲載されています。

○(横組P12) 特集 地域社会の経済発展

「地域を育てる、子どもへの支援」

東京本郷ロータリークラブの山路敏之さんと東京小石川ロータリークラブの記事が掲載されています。

○(横組P16) ロータリー米山記念奨学会資料

理事:野生司義光パストガバナー／監事:上山昭治パストガバナー・鈴木孝雄パストガバナー

評議員:鈴木喬パストガバナー

○(横組P45) 私の一冊

「明治維新10講」東京板橋ロータリークラブの和久井文治さんの記事が掲載されています。

○(横組P45) 声

東京青梅ロータリークラブの平樂茂さんの声が掲載されています。

○(横組P52～53) 俳壇、歌壇、柳壇

俳壇に東京浅草ロータリークラブの島誠一郎様が紹介されています。

■『友』公式Facebook でも情報発信をしています。フォローよろしくお願いします。

<https://www.facebook.com/TomoRotary>

■皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

クラブの奉仕活動を「ロータリーアットワーク」に投稿してみませんか？

投稿フォーム<https://www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php>

■『ロータリーの友』電子版は毎月1日更新！

どなたでも『友』電子版(アーカイブを含む)の閲覧ができます。

閲覧に必要なクラブ毎のIDとパスワードは各クラブに郵送する8月1日付請求書の右下に印字されていますので、ご確認をお願いいたします。

友愛広場、ロータリーアットワーク、私の一冊、内外よろず案内、等

皆さんの投稿を宜しく願います。

2026-27年9月度 理事役員会議事録

会長 土屋東明

幹事 木村美鈴

開催日時:2026年9月17日(木) 11:30～

開催場所:ロイヤルパークホテル 2階「東雲の間」

出席者:土屋、原田、波多野、木村、水谷、金子、井上、森／委任状出席:石渡、林

次第

(1) 審議・報告事項等

①10月度プログラムについて:承認

②8月度会計報告:承認

③入会案内パンフレットに関しまして

- ・原田会員増強委員長のたたき台を元に会員の意見を取り入れ、200-300部、製作する
- ・ホームページの現状確認

(2) 10月度の地区・グループ行事予定 ()内は出席予定者 敬称略

10/9 3グループ合同懇親ゴルフ大会(工藤・原田・森)

10/10～12 RYLA(井上)

10/13 秋の家庭集会

10/20 ガバナー補佐エレクトセミナー(金子)

(3) 閉 会

2026年9月度 RI会長のメッセージ

RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

ロータリーは、常に「人」を大切にしてきました。プロジェクトではなく、数字ではなく、「人」です。

2030年の創立125周年までに、ロータリアン125万人、ローターアクター12万5,000人を達成するという私たちの目標も、やはり「人」に焦点を当てたものです。

私がこの目標を改めて取り上げるのは、この数字そのものが皆さまの心を動かすと期待しているからではありません。数字が心を動かすことはめったにありません。このようにお伝えするのは、これほど大きな目標は抽象的なものになりがちであり、クラブの日々の活動からかけ離れたものになってしまうことが心配だからです。そうやってほしくありません。その背後にある真の目的についてもう一度お伝えしたいと思います。

皆さまのクラブで行うことのできる簡単なエクササイズを一つご紹介したいと思います。過去5年～7年を振り返り、クラブにとって最高だった年度を見つけてください。その年度には新会員が入会し、さらに重要なこととして、新会員の維持に成功した1年だったかもしれません。また、ぎゅっしりスケジュールが詰まった単なる義務的な例会ではなく、会員たちが待ち望む例会を行った1年だったかもしれません。その年度を見つけ、それを超えていただきたいのです。

これは、近隣クラブや隣の地区を凌駕しようという呼びかけではありません。これは決して、会員同士の競争を意図したものではありません。むしろ、自分たちにとっての「最高基準」を設定し、それ再び達成できるよう成長するための呼びかけなのです。

この2030年の会員数目標が私にとって重要で、何度もこの話題に戻ってしまうのは、それらの数字の一つひとつが、ロータリーによって人生が変わる可能性のある人を表しているからです。私や皆さまの人生が、ロータリーによって変わったのと同じように。私はロータリーを通じて、何十年も続く友情、自分が求めていたことすら知らなかった生きがいを得ることができました。また、家族のように大切なものとも出会うことができました。皆さまの多くも、それぞれの人生においてこのことを理解してきたのではないのでしょうか。

仲間を迎え入れるとき、私たちはその人の人生が代わるような体験を提供しているのです。今この瞬間も、皆さまの地域社会には、誰かが声をかけさえすれば、ロータリーで真の生きがいを見出せる人たちがいます。ですから、皆さまのストーリーをその人たちに話してみてください。ロータリーが皆さまをどのように変えたかを、率直に話してください。単にクラブが実施したプロジェクトや募金した資金についてだけでなく、その過程で自分がどのような人間になったかを、ぜひ話してください。そうしたストーリーには、ほかの何ものにも代えがたい、心に響く力があるのです。

持続可能なインパクトを生み出すことを次世代にも継承していきたいのであれば、私たちの活動を前進させるため、私たちとともに歩んでくれる人びとがさらに多く必要となります。今月だけでなく、毎年、毎月、皆で力を合わせ、ロータリーをより強く、より喜びに満ちたものにし、私にとって常にそうであったように、「家族」のような存在としていくことに力をお貸しください。

最高の達成があった年度を見つけてください。そして、皆で力を合わせて、これまでの最高を超える成果を挙げましょう。